



飯舘村における 将来世代への 復興知継承に向けた 教育研究プログラム

東京大学大学院農学生命科学研究科

連携市町村：飯舘村

現地拠点：福島県相馬郡飯舘村佐須滑87-1
(認定NPO法人ふくしま再生の会事務所内)

までい大学 Madei University



事業概要

放射能汚染地というハンデを背負った飯舘村の復興には、単なる技術的な除染やインフラの物理的再建だけで終わらず、その先に新しい日本型(小規模世代間交流型)農業の創設にチャレンジする若者の育成が肝要である。

1

農業現場に根差し、かつ最先端のICT技術を用いたスマート農業に関する教育研究を実施することで、飯舘村各地に根付いた復興知を携えた国際レベルの超学問領域的研究を醸成し、飯舘村における新しい日本型(小規模世代間交流型)農業の発信基盤を構築する。

2

学生を対象とした飯舘村の現地見学会や教育研究活動を展開し、農業実践者の方との交流の中で震災直後から蓄積されてきた知識(大学が有する大学知と現地の復興知)を現場の課題解決と研究活動に展開する **FPBL(Field & Project Based Learning)** を実践的に試みる。

農を中心とした生活の復興と拡大のための 研究プログラム

山林における電波到達実験

遠隔草刈実験

テーラーメイドたい肥作り研究

里山部のキノコ・山菜文化の復興

農山村部における獣害対策

活動内容

復興知の将来世代継承と発展のための 教育プログラム

東大むら塾の寺子屋活動や村のプロモーション

全国の高校・高専・大学生の招聘と実践・研究活動への導入

オンラインでの田植え・花見・空中散歩・稲刈り

福島を舞台としたフィールドミュージアムツアー

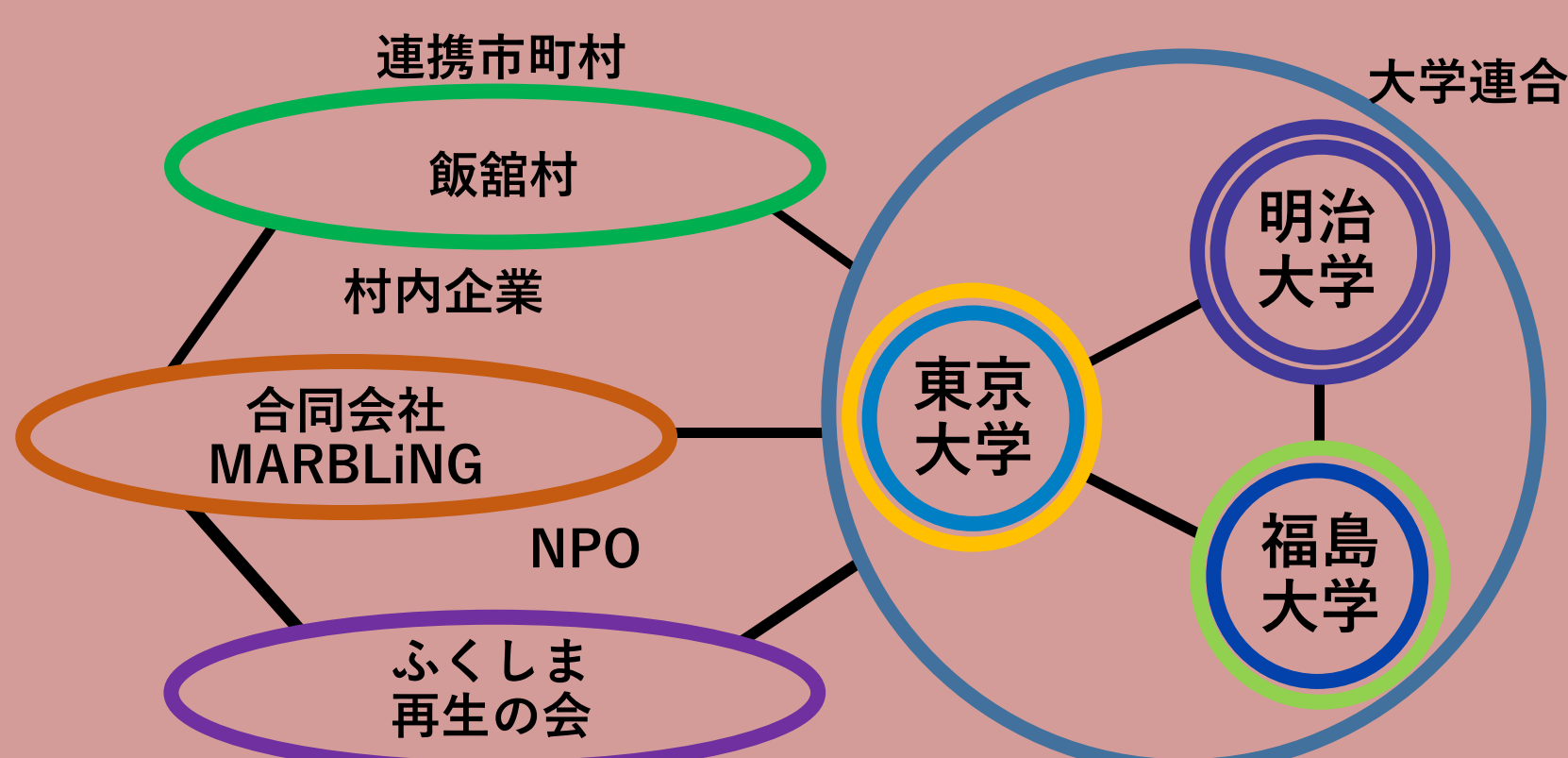
人材育成目標

【小学－中学世代】飯舘村における農を中心とした生活の歴史と魅力、および民族知を認知し、浜通りの農業とその将来に興味を示す人材

【高校－大学世代】最先端のICT技術に関する知識を有し、農業現場の課題解決に資する実践や研究活動を行うことを目指す人材

【農業実践者世代】飯舘村各地に根付いた復興知とスマート農業の現場知を、実践する姿を示すと共に将来世代へ引継ぎ可能な人材

連携体制



2年目の方向性

【全体】

今年度の活動を拡大し、分科会メンバーを含めた連携体制を強化し、村と大学が一体となった事業推進を目指す。

【研究】

飯舘村の農地に合ったたい肥作りや、上げた電波システムを活かした研究の推進と拡大。

【教育】

オンラインと現地研修のハイブリッドプログラムの設計と対象人材の拡大を目指す。